

# 2019 スーパーFJ 富士シリーズRd.2 参戦報告



***Yota Nakatani***



***SIM Studio EE*** *Mey handmade accessories*

# 富士スピードウェイ

3週間という比較的短いインターバルだったため、前戦の反省点を実戦ですぐ確認できるという点で高いモチベーションを保って臨むことができました。

しかし前戦は差をつけられての2位という悔しい結果でしたが第2戦には前戦優勝したドライバーはエントリーしていません。

そのためリベンジできない悔しさを感じてはいましたが、その悔しさを晴らすために予選、決勝共に2位以下に差をつけて優勝することを目標に第2戦のレースウィークを迎えました。





## 5/10(金) フリー走行2本

今回は前日練習がレース当日前の1日しかなく走行枠も2本しかないなので1ラップも無駄にしないよう心がけました。

1本目は前回のレースで使用した中古タイヤで走行。タイヤの空気圧を少し開幕戦より上げて走行すると気温、路温にマッチし良いフィーリングを感じました。

**Best 1'55"00**

2本目はフロントのアンチロールバーを少し柔らかくしてもらい、翌日の予選を想定してニュータイヤで走行。高速コーナーでマシンが安定するようになり、今までの富士での自己ベストを更新しました。

**Best 1'54"58**



## 5/11(土) 公式予選

予選前、前日の2本目のフィーリングがよかったためフロントを更にもう少し柔らかく変更しました。  
燃料も軽くするため目標は53秒台に設定していました。

前日練習で2位以下にある程度の差をつけていることを確認していたので、他車に引っ掛かるのを避けるため先頭でコースイン。

序盤は後方のマシンが私のスリップストリームを使用していたため、あまりタイム差はありませんでしたが、徐々に引き離していき、最終的には2位に0.522秒差をつけてポールポジションを獲得。しかし目標の53秒台には届かず、納得いく予選にはなりませんでした。

Best 1'54"476 Position 1



## 5/11(土) 決勝

決勝は2位とのタイム差があるため、何事もなければラップごとに差を広げていき、楽な展開にできるだろうと考えていたため、コースイン前も、グリッドについてあとも、すごくいい精神状態でした。

フォーメーションラップは路温が高いことと、他車にタイヤを温めさせないためハイペースで行いました。ブラックアウト後、スタートも悪くなく無難に1コーナーへ向かいましたが2位の36号車が、完璧なスタートを決め並びかけてきたため、マシン1台分のスペースを空けて1コーナーへ進入した途端、36号車が曲がり切れず私のマシンの右リアにヒットし、アップライトが割れてしまい、走行不能となりリタイアという最悪の結果になりました。 **Position 1→リタイア**





## ～まとめ～

今回は確実に勝たないといけないレースでしたがリタイアという結果に終わってしまい、応援・支援していただいた方々、本当に申し訳ございません。

昨年の日本一決定戦と違い、しっかり準備して臨みましたが、リザルトだけ見れば何も変わらないので、悔しい気持ち、辛い気持ちでいっぱいになりました。しかしまだまだ、シーズンが終わったわけではありません。何をしても結果は変わらないので、この悔しさを9月に開催される、第3.4戦のダブルヘッダーに全てぶつけます。

次戦まで4ヶ月と長いですが、その長いインターバルの間に更にしっかりと準備して、強くなって連勝できるようにします。

引き続きご声援・ご支援の程宜しくお願い致します！

